

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑫

東国分中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第12回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- | | |
|-------|---|
| 1 日 時 | 令和4年10月27日(木) 17時00分～18時00分 |
| 2 会 場 | 市川市立東国分中学校 |
| 3 委 員 | ・大学教授(委員長)各学校(東国分中・曾谷小・稲越小)の学校運営協議会代表(19名) |
| 4 内 容 | ・報告事項: 1. プロジェクト会議について
2. 教職員の取り組みについて
3. 子ども達の取り組みについて
4. 今後、予定している取り組みについて |

※詳しくは、「会議資料」をホームページに掲載しますので、ご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu20/1111000002.html>

報告

1. プロジェクト会議について

第12回プロジェクト会議 (10月3日)

<主な内容>

部活動の小中連携や、ふるさと探究科、小小の連携について検討しました。

2. 教職員の取り組みについて

3校の教職員の関係性を、より密接にすることを目的に、合同研修会を実施しました。

(1) 第1回合同職員研修会(8月29日)

全体会1	統括校長から合同研修会の趣旨について説明しました。
分科会1	3校の教職員をグループに分け、情報交換や課題などについて話し合いました。
分科会2	5つの部会(ふるさと探究科部会、学力向上部会、生徒指導部会、児童生徒会部会、特別支援教育部会)に分かれて情報交換や3校の取り組みについて、話し合いました。
全体会2	分科会1で出された意見について、各グループから発表し、全体で共有しました。

(2) 第2回合同職員研修会(10月12日)

全体会1	統括校長から合同研修会の趣旨について説明しました。
授業参観	曾谷小学校の6年生の「ふるさと探究科」の授業を3校の先生方が参観しました。 6年生は、日本の伝統文化(和菓子)について調べており、修学旅行(日光市)で訪れた和菓子屋などで直接お店の人に聞いた話を全体で共有し、意見交換をする授業をしました。
分科会	前回の分科会2の部会に学校保健部会と学校事務部会を加え、部会ごとに、前回出された課題を整理し、解決策を話し合いました。
全体会2	各部会が出された意見を全体で共有しました。

◎研修会を重ねるごとに関係性が深まり、2回目では一層議論が活発になる様子が見られました。

今後、「ふるさと探究科」以外の部会を立上げ、9年間を見通した学習計画を検討する予定です。

3. 子ども達の取り組みについて

(1) 小小連携の進捗について

- ・9月26日から30日の5日間、曾谷小と稲越小合同で「あいさつ運動」を実施しました。
- ・児童委員会の子どものアイデアで、2校の昇降口に大型提示装置を設置し、画面を通してお互いに挨拶をしました。
- ・子ども達からは、「初日は戸惑ったが、次第に挨拶をする子が増えてうれしくなった」「今の子、保育園で一緒だった」などの声が聞かれました。

(2) 乗り入れ授業の実施について

- ・中学校の数学の先生による小学校の算数の乗り入れ授業を、7月に引き続き9月も実施しました。
- ・子ども達のアンケートでは、乗り入れ授業の前と後では、「算数が好き」と回答する子どもが大幅に増えました。終了後、子ども達から先生にメッセージカードが届き、頂いた先生は感激していました。
- ・他の教科の乗り入れ授業も引き続き検討していきます。

(3) ふるさと探究科の各校の取り組みについて

・曾谷小学校の取り組み

3年生	2年生で学習した「町探検」の学習を発展させ、さらに広い地域のことを調べている。
4年生	社会科や理科の「水」に関する学習から発展させ、国分川調整池について調べている。
5年生	地域の魅力を発信するため、「曾谷貝塚」など地域の特徴について調査を進めている。
6年生	社会科で学習した「日本の伝統文化」を発展させ、「和菓子」について調べている。



＜市川案内人の会の方の話を聞く曾谷小の5年生＞
 曾谷貝塚はいつの時代にできたものなのか
 そこで縄文人はどのような生活をしていたのか
 縄文土器や黒曜石を使用した道具について
 などの話を聞きました。

子どもたちは絵を描いてメモを取るなど、真剣に話を聞いていました。

・稲越小学校の取り組み

3年生	市川の「梨」について、地域の梨園に見学に行くなどして調べている。
4年生	「環境」をテーマに学習を進め、ビーチクリーン（海岸清掃）の活動を行う予定。
5年生	社会科で学習した「米作り」について、実際に米作りを体験する活動を実施している。今後は、学習体験の中で身につけた力や知識及び情報を、子供たち一人一人が発表する相手（他学年や曾谷小の5年生など）を明確にして表現活動を行う予定。
6年生	「SDGs」について調べ、自分たちの地域に何ができるか考える学習を進めている。

・東国分中学校の取り組み

「キャリア教育」や「進路学習」、「校外学習」などと関連させて実施する予定。

4. 今後、予定している取り組みについて

「部活動の小中連携」について、地域指導者の募集や小学生の部活動見学を検討していきます。

(11月15日と17日に部活動見学を実施しました。詳細は、次回の検討委員会等で報告します。)

主な意見

- 報告を聞いて、ワクワクした。子ども達も笑顔で活動していることが想像できる。
- ふるさと探究科は大変興味がある。地域への愛着や子ども達が戻ってくるためにも、地域を知ることは大切。
- 子ども達のアイデアで挨拶運動を実施したことは、すごい。今後も子ども達の意見を取り入れてほしい。
- 乗り入れ授業の様子を、他の中学校や小学校の先生方に伝えてほしい。具体的な話を聞くことはとても大きい。
- 部活動の交流については、調整等大変だと思うが、子ども達も楽しみにしていると思う。とても期待している。
- 乗り入れ授業後の子ども達のメッセージカードを読ませていただき、肯定的な意見ばかりで、本当によかった。
- ふるさと探究科については、地域の歴史や文化を学ぶことは、とてもよいこと。機会があれば参加したい。
- 稲越小の5年生の米作りで出た藁をたたいてクリスマスリースを作ろうと話があった際、木槌が必要になるので、地域学校共同活動推進員の相談したところ、翌日にはできていて、地域力を実感した。この地域力をふるさと探究科で活用してほしい。
- 義務教育学校を見据えた時に、カリキュラムづくりが大切。家庭・地域も含め、学校でどのような活動をしているか見えるとよいと思う。

＜次回の義務教育学校の設置に関する検討委員会の開催予定＞

日程：令和4年2月中旬 場所：東国分中学校

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課

Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203